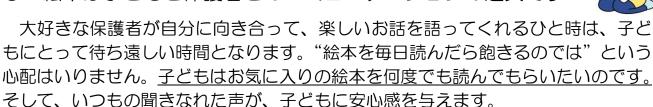


絵本を活かして、子ども達の心を育みましょう!

NO.1

○ 絵本は子どもと保護者とのコミュニケーションの道具です



○ 自己肯定感を育みます

自己肯定感とは・・・ 自分が大切に思われていると感じ、 自分自身を愛すること。



自分が大切に思われていると感じた子どもは、自分を好きになり、 自分を大切に思い、人との信頼関係を築いていきます。 信頼する気持ちが育っていると、他人を思いやれる子どもに育って いきます。

自己肯定感は、人間が生きていくうえでとても大切な感情です。 自分の存在を肯定する感情は、主として幼少期に育まれます。

では、自己肯定感を育むには、どうしたらよいのでしょうか。 例えば、保護者が家事などの作業の手を止めて子どもに向き合い、絵本 の読み聞かせをする。これは、子どもが大切にされていると感じる体験 の一つです。



幼児期における心の体験を!

こどものとも社発行文書より抜粋